

## 蠟梅ロウバイ

およそ2万本のロウバイの木が真冬に花をつける神奈川県足柄上郡の松田町。1月半ば過ぎに訪れると、町のロウバイ園は甘い香りに包まれていた。半透明の小さな花卉が蠟細工のように見えるので「蠟梅」とも書く。花の黄色が寒さの厳しい時期に彩をそえる。

「衆院解散」はその数日後。今季最強といわれる寒波が日本列島を覆い、しばらく日本海側を中心に各地に大雪や猛吹雪をもたらしました。

2月8日の衆院選挙の当日は東京都心でも積雪となり、松田町のロウバイ園も雪の影響で閉園。高速道路は通行止めとなり、国道が渋滞したことで、町は開票を遅らせる事態となりました。季語でいう「余寒」。立春すぎの冷たさが身にしみた選挙を経て今週18日、特別国会が召集される。

自民党の圧勝で「高市一強」。数にもものをいわせる国会運営も囁かれる一方、比例代表の与党の投票率は自民と日本維新の会を合わせ45.3%と過半数を下回る。残る半数超が野党を選んだ事実は決して軽くないだろう。16日間という戦後最短の選挙戦で時間切れに終わった政策論議を国会では大いに深めてほしい。

この間ロウバイの見ごろは過ぎ、松田町の山肌は、いま早咲きの河津桜でピンクに染まる。「春隣」と「余寒」が入り混じる季節。慌ただしい投票を強いられた庶民の暮らしに確かな春をもたらせるか。政治は問われています。

鎌野



## 金

日経平均株価が史上最高額を更新し5万7650円54銭という終値を付け、6万円に迫る勢いです。一方、金の価格も史上最高額を更新し、1gが29,568円という価格に達しました。金だけでなく銀も2年で4倍に、そしてプラチナの価格も高騰しています。世界情勢が混沌としている中で、安心資産と言われている貴金属の価値が上がるのは、それだけ現在の世界情勢が危ういという証拠だと思います。ひとたび、世界大戦が巻き起これば、株は紙くずと化すでしょうが、経済第一主義の現在では富を持つものが世界を支配するという構図です。

さて、ではなぜ金は貴重なのでしょうか？錬金術という言葉がありますが、金はごく最近まで、人間が作り出すことはできませんでした。金は地球内部の高温高圧環境や宇宙規模の現象によって生成されます。最も有力な説は、超新星爆発や中性子星合体などの極めて稀な天文現象で重元素が作られ、地球に運ばれたというものです。地球形成初期には隕石として降り注ぎ、マグマ活動や熱水作用によって鉱脈に濃縮されました。このため、金は非常に希少で、採掘効率も低く、1トンの鉱石から得られる金は平均3~5グラム程度です。

ごく最近、素粒子を研究するための量子加速器により、人類は金を作り出すことに成功しましたが、生成できた金は目に見えないレベルで、しかも1舜しか存在できない物でした。試算によれば、この方法で1gの金を作るには、およそ1000億年かかり、日本の平均的な電気料金を約30円/kwhとしたら、1京8000兆円もの費用が掛かるそうです。現実的な数字ではないですね。ダイヤモンドは炭素から生成でき、商業ベースに乗っていますが、金は無理でしょう。だから金は貴重なのです。もしも家に金貨や金製品があったら、もう少し持っていた方が賢明かもしれませんよ。

英樹



## 配り

第321便

勝亦製材駿河鉄骨株

住まい塾御殿場教室  
TEL (0550) 87-0048  
FAX (0550) 87-1237  
〒412-0035 静岡県中山518番地

三日月が今日の空に馴染んでく  
かじかむ両手息吹きかける  
ねがみともみ



名ばかりの春のひと日を降りつづく  
雪のみなもと無間なるかや  
勝亦りつ子



## 春の足音

早いものでもう3月になろうとしています。今年はドカ雪にも降られずに春を迎えそうですね。富士山に積もる雪が少なく、写真を撮ったり登山に行ったりするには少々物足りなくもありませんが、暖かい季節というものは良いものですね。春を知らせる草花や生き物が顔を出し始めています。唯一花粉だけは歓迎できませんけれど。

コレを書いている今は冬季オリンピック真っ盛りです。毎朝3時4時に起きてライブで競技を見ています。我が家の人間はあまりオリンピックに興味が無いようで私以外は起きてくる気配もありません。最近は何となく涙腺も弱くなってきているので、りくりゅうペアの演技に朝から涙しても幸いなことに家族には気付かれずに済んでいます。オリンピックってやっぱりいいモノですね。4年に一度のこの時に、競技人生のすべてを掛けて挑んでいく姿には単純に人間の凄さのようなものが感じられて、テレビの前の観客だとしても、それが報われた瞬間に立ち会えることに感動しています。選手も、サポートしているスタッフにも、たとえメダルが取れなかったとしてもお疲れ様、とねぎらいの言葉を掛けたくります。さらにはスノーボードのクルクルと跳び回る選手たちを観て瞬時に何回転だと技の名前が出てくる実況のアナウンサーにも尊敬の念を抱かずにはいられません。あれがすぐに分かるのも相当な訓練をしているのではないかな。

まあそんなこんなで、テレビの前で自分もこうしちゃ居られない、何かをやり遂げよう！となにか掻き立てられてくる物があるので、とりあえず正月肥りのこのお腹をどうにか凹ますべく運動でも始めようと思います。

でももう少しだけ暖かくなってからでいいよね。

柳田敏和



## 喫茶店



用事があり御殿場へ出かけた際、ランチタイムに差し掛かったので、「そうだ！」と思い出し、御殿場駅近くのアサヒ堂書店の道向の喫茶店“風月”に出かけた。いわゆる昭和レトロな喫茶店。私はタバコは吸わないが、今時ありえない喫煙 OK のお店。入り口には 20 歳以上入店と現金払いと貼り紙がしてある。私の前を若い男女が入り口で立ち止まり、SNS に載っているのだろう。面白そうと入店していった。

入り口を開ければ、昭和感満載の喫茶店、少し薄暗く……。たばこの匂いがする。一気に昔の記憶が蘇る、きゃぴきゃぴしていた頃の風景や隣にいた人物、会話までが脳裏に映像として映る。歳を重ねると昔の記憶は鮮やかに思い出すとはよく聞く話だが、それが自分に当てはまるようになった……。ということですね。

ビロード生地の椅子に座るとお店の人が灰皿と一緒に水を持ってきてくれた。コーヒーは苦手なのでココアとミックスサンドを注文した。このミックスサンド、食べてみるとこれまた懐かしい味がする。辛子がピリッと効いて美味しい。まさに昔食べた味。プリンアラモードも少々小ぶりだが赤い缶詰のサクランボがのりプリンは手作りとわかる。「美味しい」と呟く年を重ねた私でした。最近のお店は二次元コードまたはタブレット注文。お冷はセルフ。支払いはいはバーコード読み取りで支払い。これが主流になりつつある。人材不足ですし時代も時代。別に否定はしません。合理的です。そのうちに、責任者一人でお店まわすようになるかも……。あそこのアンドロイド親切なのよ？なんてことになるのもそう遠くない未来。

たまには CAFÉ ではなく哀愁のある“喫茶店”でゆっくりした時間も過ごすのもいい。なんとなく若返った気がするし。なんとなくだけど。何歳くらい若返ったかな。

ねがみ



## おにぎり



おにぎり。美味しいですね。でも、ある時からおにぎりが喉につかえるようになった。ご飯を塊にしているものなので、つかえらるとお茶を飲んでもおにぎりの塊の上に溜まるだけで地味に痛い。ジャンプをしたり、自然に落ちるのをじっと待つ。息苦しいとかはないのだけど。しゃべりながら食べたり、急いでいたりするとよく噛まずに飲み込んでしまうのか…。

おにぎりが詰まる原因を調べると、主に飲み込む力の低下。特に高齢者や子どもは、飲み込む力が弱まっているため、食べ物が喉に詰まりやすい。おにぎりなどの固い食べ物は、噛まずに丸呑みすることが多く、これが喉に詰まる原因となることがある。また、誤嚥や窒息のリスクを減らすためには、食べ物をしっかり噛んで食べることが重要と。のどの老化は 40 代から始まるらしい。…加齢が原因？将来誤嚥防止の為に鍛えておかないと！

祥子